情報通信審議会情報通信技術分科会
IP ネットワーク設備委員会
安全・信頼性検討作業班（第 24 回）議事要旨

１　日時　　平成 24 年 9 月 4 日（火）17 時 00 分～18 時 40 分

２　場所
　　総務省 10 階　総務省第 1 会議室

３　出席者（敬称略）
（１）構成員
　　相田 仁（主任）、富永 昌彦（主任代理）、安積 雅人、印南 鉄也、
　　内田 真人、大高 利夫、大山 真澄、岡田 利幸、加藤 潤、木村 孝、
　　小林 真寿美、佐田 昌博、柴田 克彦、竹末 明弘、西川 嘉之、原井 洋明、
　　福岡 克記、藤岡 雅宣、松本 隆、三膳 孝通、三輪 信雄、持麾 裕之、
　　山下 武志、吉田 治生
（２）説明者
　　大久保 一彦（日本電信電話(株)）
　　濱島 幸治（内閣官房情報セキュリティセンター）
（２）事務局（総合通信基盤局 電気通信事業部 電気通信技術システム課）
　　杉野課長、飯倉室長、根本補佐、村田補佐

４　議事

○ 資料安作 24-1 に基づき事務局より第 23 回の議事要旨案の確認。

○ 主任より事務局メンバーに変更があった旨を紹介。

○ 資料安作 24-2 について TCA の竹末構成員より説明。主な討議は以下の通り。

- NTT ドコモの大ゾーン基地局等は掲載しないのか。
- 各社共通で HP 掲載できるもについて TCA で議論を行った。これ以上の取り組みについては各社の自主的な判断で掲載をすることになる。
- 可搬型発電機やその他応急復旧機材につても、TCA でガイドラインの作成はしないが、各社の判断で掲載等をすることについては問題ないということか。
- そうだ。

○ 資料安作 24-3 について事務局より説明。主な討議は以下の通り。

- 本資料の内容について、技術基準に反映してみてはどうだろうかという提案だと認識している。意見がある場合は今週中に事務局へ提出して欲しい。

○ 資料安作 24-4 及び 24-5 について事務局より説明。主な討議は以下の通り。

- セキュリティに関する部分は結果的に見直す必要はないという結論であるが、意見等があれば今週中に事務局へ提出して欲しい。

○ 資料安作 24-6 について NISC の濱島様より説明。主な討議は以下の通り。

- 省庁横断的に把握している NISC から見て、総務省の安全・信頼性基準はどうか。
- 順次、改定等を行っていることは認識している。NISC でも来年 3 月頃に指針の改定を行うので、それらについても必要に応じて反映して欲しい。

○ 資料安作 24-7 について NTT の大久保様より説明。主な討議は以下の通り。

- 最新のセキュリティ対策技術についてご紹介頂いたが、ガイドライン等の考え方で変化しているものはあるか。
- 基準やガイドライン自体はクラウド時代でも大して変化しないが、それらを守るために利用する技術がいたちごっこではあるが、変化していくと考えている。
- スマートフォン上でのセキュリティをどのように確保していけばよいのか。
- 端末メーカ側でも通信事業者側でもそれぞれ行える対策があるので協力すべき。さらにはユーザにもセキュリティリスク等があるという事を理解した上で利用してもらう。ユーザ、端末メーカ、通信事業者、サービス提供者の全てが連携して、セキュリティ対策を講じていくべきと考えている。

【その他】

○ 事務局より、次回は 9 月 12 日に開催する旨、意見等がある場合は今週中に事務局まで提出して欲しい旨を説明。

以上